

# 遠慶

おんきょう



新潟教区報 第108号

2014(平成26)年11月28日発行

寺院めぐり 長岡組 唯敬寺

## 長岡組 唯敬寺

長岡組唯敬寺は、えいきょうじと親しんで頂いています。東山連峰を臨み信濃川の土手で散策する恵まれた環境。開基は永正五年(一五〇八年)長野県松本付近。北陸を通り越路の笹崎、長岡市上田町そして現在の草生津へと移って来ました。活動は教区の常例法座六回と市内の布教使(長永寺様、光源寺様、下々条西福寺様)の法座三回、そして正月の初笑い入船亭扇辰師匠の落語鑑賞。合わせて年十回の法座も今年で二十一年目を迎えます。その他、五月は警女唄妙音講を開催し、ご門徒さん以外の方とのご縁を頂いています。

唯敬寺のご門徒さんに、星野嘉保子さんがおられました。長岡で初めて坂之上町に私立長岡女学校を設立された方で、女性の教育に尽力され裁縫等を教え、テニスコートもあったようです。悠久山に銅像がありましたが大戦で供出され、近年に再現し本堂前に設置致しました。先人の方々の五百年の功績を後世につたえられる様、そつとつながる、ホッがつたわる活動を続けたいと思います。

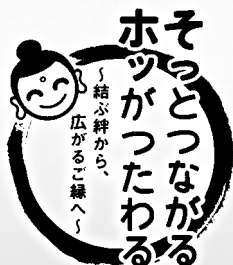


星野嘉保子さん銅像

住所…〒940-0085

新潟県長岡市草生津三二二七

寺院めぐりのコーナーでは、教区内の各ご寺院のご紹介をさせていただきます。ご寺院の沿革や由緒、力を入れて取り組んでいる事などを教えてください。ご協力、よろしく願います。



編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」  
新潟教区委員会 広報部会

発行者/新潟教区教務所長 野村宗雄

〒940-2402 新潟県長岡市与板町与板乙4356本願寺新潟別院内

Tel: 0258-72-2120 Fax: 0258-72-2536

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~nkyouku/>

# 門徒総代会研修会に参加して

平成二十六年十月六日(月)～七日(火)

巻組 妙光寺 倉澤 鉄雄



こぶしの会 歌と朗読



研修の様子

久々に会う皆様と挨拶を交わし、近況を語り合う事が出来た。今年は逢平の山々の静けさも手伝い、和やかな雰囲気にも包まれ会場が一つになった。

元上組は組としての活動が活発であり、教団についての基本を学ぼうと真剣な取り組みが伝わってきた。また、こぶしの会の皆さんの歌、詩の朗読など心の暖まるものを感じ世話になった母を思い出さずにはいられなかった。

台風が新潟を逸れ、風はなく雨で良かったと、柿栽培農家の自分は思ってしまったが、水害に遭い苦しんでいる大勢の人達がいる中で、自分の自己中心的な思いが、この度の坂原英見先生が話された「心の過疎」という言葉と重なってしまったのである。

こんな私こそ、阿弥陀様のふところに抱かれていますと思えば、誠にもったいない事だ。聞法の道場である寺院にもっと足を運ばなければと思うこの頃である。

# 裏磐梯サマーキャンプ(有志によるボランティア活動)へ参画して

平成二十六年七月三十日(水)～三十一日(木)

与板組 常禅寺 旭 勲

二〇一一年に東日本大震災が発生してからすでに三年半以上の月日が過ぎ、東北地方外に住む私たちは、徐々に震災の記憶が薄れてきてしまっているように思います。しかしながら今なお震災(原発や津波被害)の影響によって、仮設住宅などで不自由な生活を過ごされている方々が二十万人を超えています。

大阪教区の僧侶が中心となり活動している「震災支援を続ける会」はその名の通り、震災発生以後、継続的な支援活動を行なっています。生活支援セットの手配や仮設住宅への炊き出し、最近では炊き出しにあわせ「おしゃべりサロン」を行ない、仮設住宅の方々に「笑顔」と「ほっとするひと時」を提供し続けています。

その活動の一環として、二〇一二年より、裏磐梯のキャンプ場にて「サマーキャンプ」を行なっており、新潟教区の有志も毎年さまざまな形で携わっております。毎年六～八名で参画し、今年は主にゲームやレクリエーションを担当いたしました。仮設住宅で不自由な生活を過ごしているのは大人だけでなく、外で自由に遊ぶことのできない環境の子どもや、仲の良かった友だちと離れて暮らさなくてはならない子ども、そして何より将来に不安を抱えて生きている子どもが大勢いるのです。その子どもたちに対し、離れていても想っている大人がいること、皆が集うと楽しい時間が過ごせること、そして安心して遊ぶことのできる時間と空間を共有することを目的として、サマーキャンプは行なわれています。主に植葉町地域と、会津美里地域に住む子どもたちを招待し、毎年一〇〇名前後の子どもが参加してくれています。

災害ボランティアにはさまざまな活動があります。物資の支援や現地での炊き出し、経済的な支援など多岐にわたります。一人ひとりが「自分のできること」を探し、行動することで、私たちは震災を「忘れない」で生きていけるのだと思います。被災した子どもたちを忘れない活動が、裏磐梯サマーキャンプなのだと思います。



サマーキャンプの様子

震災支援を続ける会へのご支援は下記口座へお願いします  
三菱東京UFJ銀行 中もず支店 (店番456)  
普通 口座番号 0137055  
震災支援を続ける会 代表幹事 石崎博叙 宛て

## 新潟教区活動報告(2014年8月後半～2014年11月前半)

<b>8月</b>	
30日(土)～31日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2ブロックまことの保育大学講座『「すべてが、わたしを生かしている」～つながり・縁起(えんぎ)～』 講演講師 山崎 浩 氏(声楽家・作曲家 清泉女学院短期大学准教授) 沼田 秀美 氏(声楽家・ヴォイストレーナー)</li> <li>講義講師 丁野 恵鏡 氏(社会福祉法人光寿会理事長・本願寺派保育連盟教育原理委員長)</li> </ul> 153名が参加し、基調講演はピアノ演奏と歌のコンサート形式で、金子みすゞの詩の味わいや子どものための歌などのご講演をいただきました。講義は保育連盟の新テキスト「真宗の教えとまことの保育」を基に、新テキストが作成された経緯等も含め、各項目の内容についてご講義をいただきました。
<b>9月</b>	
2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺院女性会研修会『お寺で出来る災害支援活動』(17名参加)</li> </ul> 講師 麻田 弘潤 氏(本願寺派布教使 元上組極楽寺) 身近に災害が発生した時、お寺として何をしたら良いのか、どんな支援活動が出来るのか、講義や参加者の話し合いの中から学びました。
8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連研新教材普及学習会『「連研ノートE」について基本的な理解を深める学習会』(32名参加)</li> </ul> 講師 松野尾 慈音 氏(連研中央講師・東海教区額田組明願寺住職) 「連研ノートE」の活用や中央教修への参加の奨励方法など連研実施の際の課題について活発な協議がなされました。
10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門徒推進員連絡協議会研修会『法統継承を機縁として、つながる、つたわる、ささえる』(32名参加)</li> </ul> 講師 井上 陽雄 氏(国府教区 米山組 浄福寺住職) 法統継承式の前門さま、ご門主さまのお言葉を通して、変化していく社会の中でどのようにしてお法りを伝えていくのかをお話いただきました。
11日(木)～12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1連区布教使研修会『超高齢社会と葬送』(40名参加)</li> </ul> 講師 北塔 光昇 氏(本願寺派助学 北海道教区上川南組正光寺住職) 葬送儀礼が複雑化する現代において、葬儀を縁としたおとりつきについてお話いただきました。
16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『差別問題への取り組みに関する部落解放同盟新潟県連合会との合同学習会』事前学習会(28名参加)</li> </ul> 合同学習会に向けて、今までの取り組みの経緯や今後の教区としての具体的な方策などについて確認がなされました。
18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第34回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要</li> </ul> 教区から約15名が参拝しました。今後、教区からの参拝者の増員や団参の奨励について検討していく必要があると思われまます。
26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「法統継承に際しての御消息」披露総局巡回・公聴会(59名参加)</li> </ul> 第1部 御消息披露式典 特命布教使 丸山 文雄 氏(本願寺派布教使 巻組万栄寺) 第2部 公聴会 実践運動並びに宗門総合振興計画について協議が行われました。
30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差別問題への取り組みに関する部落解放同盟新潟県連合会との合同学習会(33名参加)</li> </ul> 3回目の学習会でありましたが、今までの教区の取り組み内容や、今後の具体的な方策については一定の評価が得られ、今後はその具体的な方策をしっかり実践していく事が新たな課題であります。
<b>10月</b>	
6日(月)～7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門徒総代会研修会『「法統継承に際しての御消息」を体して ～門徒総代の役割～』(96名参加)</li> </ul> 講師 坂原 英見 氏(本願寺派総合研究所研究員 備後教区三次組東光坊) 元上組門徒総代会担当のもと、ご講師よりご消息を体して地域社会と寺院のつながりをもって活動する必要性について学びました。
9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟別院常例布教 講師 小村 賢昭 氏(本願寺派布教使・大阪教区)(8名参拝)</li> </ul>
10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「御同朋の社会をめざす運動」推進現地学習会事前研修会『新潟県北部の部落差別の現状と課題について』</li> </ul> 講師 長谷川 均 氏(部落解放同盟新潟県連合会執行委員長) 現地学習の前に、新潟県北部の部落差別の現状と課題について事前に学びました。
21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「御同朋の社会をめざす運動」推進現地学習会(27名参加)</li> </ul> 講師 長谷川 サナエ 氏(部落解放同盟新潟県連合会執行委員) 現地学習を通じて、今なお存在する差別の現実を学び、現地の方々の声から差別の痛みを知る事により改めて「差別被差別からの解放」に取り組む事が課題であるという認識を深めることができました。
23日(木)～24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟別院謝恩講法要(延べ70名参拝)</li> </ul> 講師 前田 昌光 氏(本願寺派布教使 巻組源昌寺) 丸山 文雄 氏(本願寺派布教使 巻組万栄寺)
24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本願寺新潟別院どんとこいフェスタ</li> </ul> 謝恩講法要終了後の午後4時より真宗大谷派・真宗仏光寺派・浄土真宗本願寺派の若手僧侶によるリレー法話と、やきそば・わたあめ等の露店の出店、ご当地アイドル「RYUTist」によるコンサートが行われ、延べ100名以上の方々にご参加・ご参拝いただきました。
<b>11月</b>	
9日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟別院常例布教 講師 長井 順一 氏(本願寺派布教使・国府教区)(8名参拝)</li> </ul>

法話 ② 長岡組 西福寺 高橋純勝

「聴聞」のご法義

聴聞というのは「唯」というおいわれを聴き開くと云っているのではない。浄土真宗は、「あれか、これか」の二者択一する法義であって「唯信」ともいいます。「あれも、これも」と欲ばるものは信の一事はいただけないのではないか。「雑行雑修」を嫌うご法義のようです。「この事一つ」と愈々弥陀の本願に出遇いますと「信」の深みが私を支えて「いのち」のよろこびに変わって参ります。

釈尊は難化の三機（本願を疑う事、五逆罪の咎、一闍提）を示し、病んでいる阿闍世の「瘡」から救う為「月愛三昧」を勧め、自ら「三昧」に入って「この光を放ちてまず王の身を治し」（浄土真宗聖典P二七九）「阿闍世の為に涅槃に入らない」同体大悲を誓われ、月愛三昧の密義は、やがて阿闍世に慚愧心を覚えさせ真の人間回復をなし遂げました。

親鸞聖人は、ご自身の實際を掘り下げられ「愚禿悲嘆述懐」和讃で「無慚無愧のこの身にて まことのこころはなければども  
弥陀の回向の御名なれば 功德は十方にみちたもふ」と「いのち」のよろこびを言い表しておられます。

「唯信」は、「お恥ずかしい心」と表裏一体をなしています。信のあり様を聞き損じないようにしたいものです。

— 称名 —

○今後の予定 ご関係の皆様のご参拝、ご参加をお待ちしております。  
・若い女性聞法の集い

期日 平成26年11月23日(日)  
会場 本願寺新潟別院  
テーマ 『親子で作る楽しいクッキング』  
・連研のための研究会

期日 平成26年11月25日(火)  
会場 本願寺新潟別院  
テーマ 『差別問題をテーマとして実施する際の連研進め方・まとめ方』  
講師 三ヶ本義幸 氏(連研中央講師)

期日 平成26年11月29日(土)  
会場 セレモニーホール飛燕  
テーマ 『めぐり遇ういのち』  
講師 朗読整チームいちばん星(北海道教区)

期日 平成26年12月6日(土)  
会場 本願寺新潟別院  
テーマ 『憲法九条と集团的自衛権』  
講師 阪田 雅裕 氏(弁護士・元内閣法制局長官)

期日 平成26年12月20日(土)  
会場 新潟市民芸術文化会館リューとびあ能楽堂(新潟市)  
テーマ 『落語で親鸞のおきに行こう』  
講師 笑福亭仁智 氏(落語家)

期日 平成26年12月22日(月)  
会場 本願寺新潟別院  
・キッズサンガポーター養成研修会・教区連絡協議会

期日 平成26年12月31日(水)～1月1日(木)  
会場 本願寺新潟別院  
・新潟別院除夜会・元旦会

期日 平成26年1月22日(木)  
会場 本願寺新潟別院  
・差別問題研修会

期日 平成26年2月15日(日)  
会場 セレモニーホール三条会堂  
・連研履修者研修会



ラジオ法話

新潟教区布教団による ラジオ法話  
FMながあか 80.7  
毎週月曜～金曜 16時15分より放送中です。  
(放送地域は、長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、寺泊、和島、与板、見附、中之島、板尾)

身元調査 しない させない 許さない